

# 今後の国際拠点空港のあり方に関する 懇談会報告(案)のイメージ(案)

平成19年 3月27日

# 国際拠点空港の果たすべき機能等と今後の国際拠点空港政策の方向

## 国際拠点空港の事業特性

- 安全や安心の確保、サービス水準の向上、事業の継続性や安定性が必要
- その整備に巨額の資金と長い回収期間を要し、現実的に他の施設による代替が不可能であるため、独占的な状態になりやすい
- インフラ整備の進捗、航空需要見込み等から、民間に経営を委ねる基盤が形成されつつある
- 騒音等の外部不経済、地域経済の活性化等から、地域との共生が重要

## 国際拠点空港の果たすべき機能

- 我が国の経済社会活動の活性化、国際競争力の強化に資する社会インフラ
- 増大し続ける国際航空需要に対応して適切に空港容量の拡大が図られた国際航空ネットワークの結節点
- コスト削減、非航空系収入の拡大等による空港使用料の低減等
- 公平かつ公正で、安全かつ良質なサービスの提供を通じた利用者利便の向上
- 騒音が地域に与える影響、地域経済に果たす役割を踏まえた地域との共生
- 我が国の空の玄関口として、我が国の魅力や文化の世界への発信

## 国際拠点空港政策の現状と環境の変化を踏まえた今後の方向性

### 現 状

#### 【 国 】

- 需要予測に基づき空港整備に係る長期計画を作成し、それに基づき空港整備を推進
- 各国際拠点空港の基本計画では、今後発揮すべき機能等の政策的方向性は示されず

国に準ずる法人

指定

#### 【 国際拠点空港 】

- 国が設置管理を行うことの例外として、公的な独立の主体を設けること、民間会社を指定することにより、これらが設置管理
- 航空機の安全円滑な離着陸の確保、利用者の利便に資するターミナル運用に重点
- 非航空系事業への取組み

### 環境の変化

- 関西国際空港の二本目滑走路の供用、成田国際空港の平行滑走路の北伸整備
- アジア各国における複数滑走路を有する大規模空港の整備の進展
- アジア各国と比べ割高な着陸料等の引下げ要望に見られる国際競争力強化の必要性
- 人やモノの国際的な交流拠点としての商業や観光など、利用者ニーズの多様化、高度化
- 行政改革の流れの中で、国際拠点空港の完全民営化に係る閣議決定
- ヨーロッパを中心とした国際空港の株式上場、民営化の進展
- フェロビアルによるBAAの買収、インフラ投資ファンドの動向、M&Aの進展等
- 今後想定される様々な環境変化への柔軟な対応の必要性

### 今後の方向性

#### 【 国 】

- 国際拠点空港政策を明確に提示
- 国際拠点空港の完全民営化を推進
- 国際拠点空港の運営に関する基本的ルールを作成

国の政策を明示  
政策と経営の整合性確保

独占等の弊害防止、公平  
取扱い確保等の観点から、  
所要の措置

#### 【 国際拠点空港 】 **完全民営化**

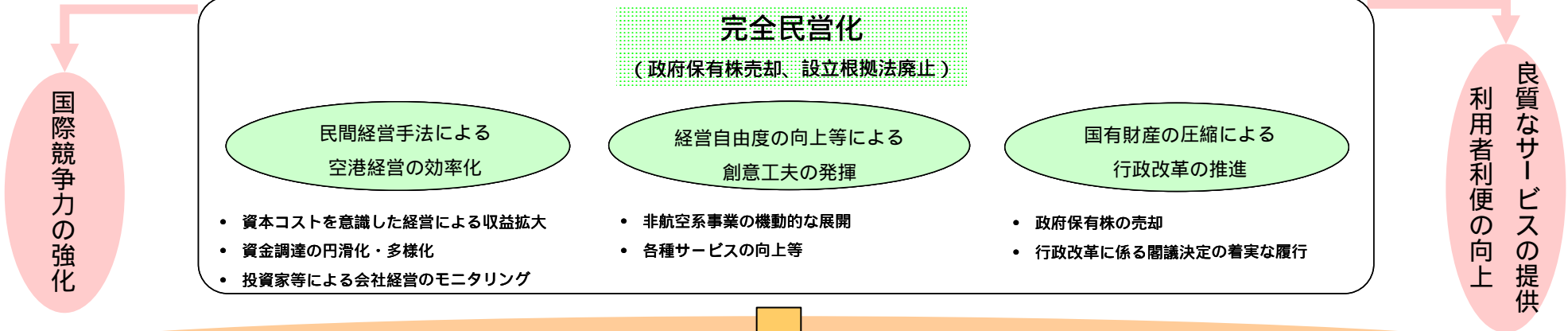
- 民間の創意工夫を生かした効率的な空港経営
- 利用者にも便利で快適な空港サービスを提供
- 社会経済情勢や利用者ニーズを機動的に空港運営に反映

説明、情報開示

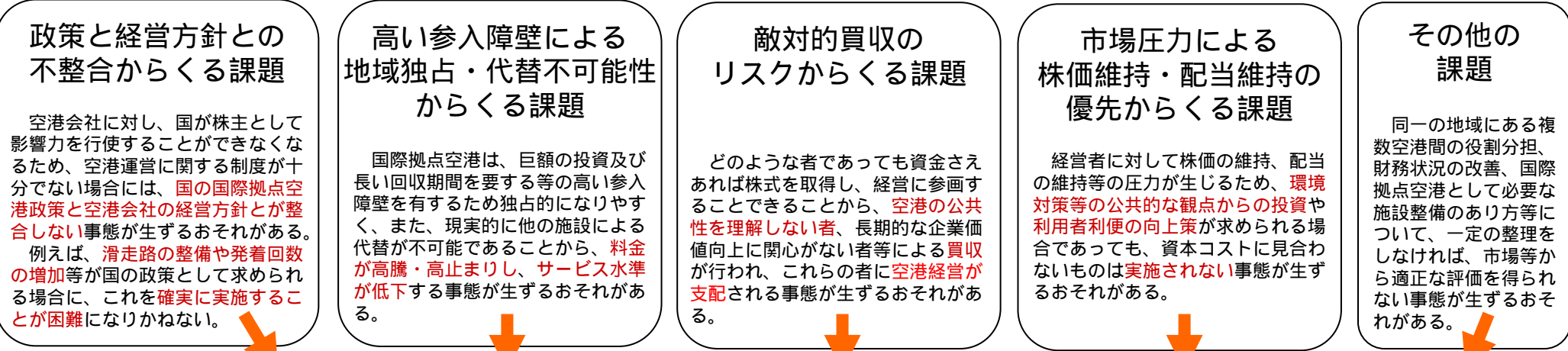
監視

株主、空港利用者、地域

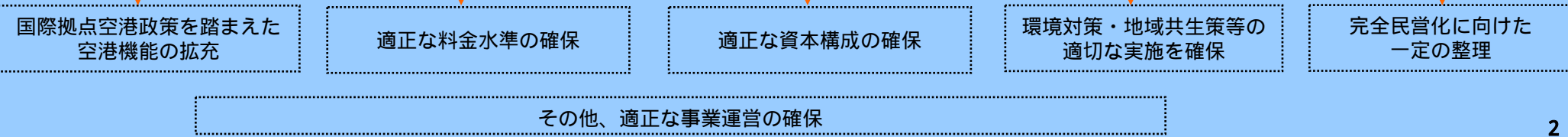
# 国際拠点空港の完全民営化を円滑に進めるに当たっての課題とその解決の方向



## 完全民営化を円滑に進めるために提起されている課題



これらの課題を解決するために、適切な措置を講ずる必要。



# 完全民営化を円滑に進めるに当たっての課題の具体的な解決策の方向

## 国際拠点空港政策を踏まえた 空港機能の拡充に向けて

•国際拠点空港政策として**明確な将来像**を提示、空港会社の将来計画を明らかにし、**政策との整合性**を図り、利用者、周辺地域等にも明示

•空港会社の**自主的な経営**としての投資判断を**尊重**しつつ、料金において投資を回収する等の方策により、公共的な見地から**必要な投資**を確保

< 解決策の例 >

### 【国】

国際拠点空港に関する基本的な指針を作成

適合性を確保する仕組み      社会経済情勢の変動等に応じ機動的に改定

### 【空港会社】

•国の示した基本的な指針を踏まえた事業に関する基本的な計画を作成  
•利用者、地域等への明示

## その他、 適正な事業運営の 確保に向けて

•株主利益等のみが重視される弊害（安全、安心の軽視、サービスの低下等）を防止  
•経営の透明性、公開性を確保  
•事業の継続性、安定性を確保

## 適正な料金水準の確保に向けて

•空港会社の**自主性**、**創意工夫**等により機動的な料金設定を確保

•株主等からの利益向上圧力や独占による弊害を防止するため、弊害が懸念される料金について**必要最小限のルール**

•**非航空系事業**の料金は空港会社の創意工夫に委ねる。増収を利用者に**還元する方策は今後検討**

•料金についての利用者の納得を得ること等のため、料金に関する**透明性**を確保

< 解決策の例 >

### 航空系事業に関する料金

•**適正な料金水準の確保のための一定のルール**

### 非航空系事業に関する料金

•空港会社の**創意工夫**に委ねる  
•料金引下げ、旅客ターミナル施設の拡充等につながる仕組みについては、その必要性を含め検討

料金設定の基礎情報等を明示する等の透明化措置

## 適正な資本構成の確保に向けて

•空港の公共性を理解しない者、長期的な企業価値の向上に関心がない者等による**敵対的買収を防御**

•我が国の航空主権の確保等の**国家的見地からの懸念を解消**

•空港経営の**中立性**を確保

< 解決策の例 >

以下につき一定のルールを定めること等の検討

- 外資による保有
- 一株主による大量保有
- 拒否権付株式の発行

株式の流動性の低下、経営者に対する市場圧力の低下等に留意。

## 環境対策・地域共生策等の 適切な実施に向けて

•公共的な見地から必要となる環境対策・地域共生策等について、空港会社の役割を踏まえて、その**実施を確保**

•成田空港における航空機騒音防止法等以上の措置について整理し、適切な対策を実施

•環境対策・地域共生策等の内容について、**地元への情報提供や意見交換**が重要

•**地域の観光の活性化**等の役割を地域との連携の下に果たすことへの期待

•海上に設置されている関西空港、中部空港については、**成田空港との違い**に留意

< 解決策の例 >

環境対策・地域共生策等が適切に実施される方策として、例えば

- 環境対策・地域共生策等の実施を義務付け
- 環境対策・地域振興等の実施が空港会社の事業経営の指針に位置づけられることを確保等を検討

**運輸事業やインフラ事業における措置を参考に、適正な事業運営確保のための措置**

会社法等で求められる以上の空港運営情報の開示のあり方を検討

### < 成田空港の課題について一定の整理 >

- 羽田空港との役割分担
- 内陸空港として、環境対策の適切な実施
- 公団から特殊会社になる際の地元との合意事項等の取扱い
- 平行滑走路2500m化以後の空港整備方針

### < 関西空港の課題について一定の整理 >

- 国際拠点空港として必要な施設のあり方（二期施設整備）
- 施設整備のタイミングと資金調達方法
- 多額の債務残高がある財務状況の改善
- 関西、伊丹、神戸の三空港の役割分担

### < 中部空港の課題について一定の整理 >

- 国際拠点空港として必要な施設のあり方
- 県営名古屋空港との関係